

◆ 平成23年5月20日（金）議長記者会見概要

場 所：議会事務局理事者控室

出席者：国中憲治議長、浅川清仁副議長



<案件>

○国中議長就任挨拶

今回地方統一選挙で我々44名の議員が、県民の皆さまのご支持によって議会に選出されました。そして本日私と浅川副議長が選任され、誠に光栄であり、職責の重大さと思うと身の引き締まる思いです。

3月11日の東日本大震災では、多くの方々がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りしますと共に、一日も早い復興を国を挙げて支援していかなければならないと思っております。

また、昨年の東大寺での第300回記念議会において制定された議会基本条例に沿って、議会改革に取り組み、知事、市町村長等々と協力して県勢発展のため力を尽くして参りたい。

○浅川副議長就任挨拶

大変身の引き締まる思いをしているところです。

今、日本は戦後最大の危機に直面しています。東日本大震災で被災された方々に心からご冥福をお祈りするとともに御見舞い申し上げます。近い将来奈良県も東南海、南海地震に備えていかなければならないと思っています。

議会基本条例が制定され、議会改革を推し進めて行かなくてはならない。県民への説明責任をしっかりと果たし、県民参加をもっと積極的に進めていきながら、県民に開かれた議会を目指していきたい。

副議長として議長を支え、職を全うし、また自分自身も精進し、励んでいきたい。

＜質疑応答＞

記者： 民主党から出た副議長ではないが、議会運営に難しさはないですか。

国中議長： 県勢発展のため、理解を持って、議会のスムーズな運営ができると確信しています。

記者： 副議長に選出された流れをどう受け止めていますか。

浅川副議長： 自民党、民主党の方々に推薦いただいた結果であると思います。私としては推薦いただいた以上、それを厳粛に受け止め決心しました。

記者： どちらからお話しがあり、どういう内容で、その時どう感じられましたか。

浅川副議長： 自民党から副議長を受けないかと話しがありました。大変驚いたが、今までの自分の実績に対し賛同いただいたと理解しています。

記者： みんなの党として、自民党、民主党へのスタンスが変わることがありますか。

浅川副議長： 全く変わりません。議会が一致団結して、しっかり議論をしながら議会が発展できればよいと思っています。

記者： 特別委員会で関西広域連合について議論するにあたって、どういう議論を期待しますか。

国中議長： 44名の議員が色々な意見を持っているので、特別委員会等で議論を進めていかなければならないと思っています。県民の健やかな生活が確保され、奈良県が発展することを念頭に置きながら、県民の納得が得られるよう議論を進めて参りたい。

浅川副議長： 全く同感です。